



12 [くじらが息絶えていくシーン]

力をふりしぼり日向灘ひゅうがなだにたどり着いたくじらは、息も絶え絶えに、子どもを産みました。

くじらが、カンムリウミスズメにむかって「この地は子育てこもだにいいところよ。」
そう言うと、美々津浜（みみつはま）でとうとう息絶いきなえてしまいました。
間もなく、産まれたばかりの子くじらも、あとを追うように息絶えてしまいました。



13 [神武天皇が腰掛石に座ってみているシーン]

その様子を、^{しよだいてんのう}初代天皇である神武（じんむ）さまが、腰掛石（こしかけいし）にすわって、じっと見ておりました。

久米勇夢



14 [神武さまが海に向かって棒を指すシーン]

そこで、神武さまは、このやさしい心をもつくじらが、この地にいたことをいつまでも伝えようと、海に向かって棒で、
「エイ！ エーイ！」
と、呪文（じゅもん）を唱えました。

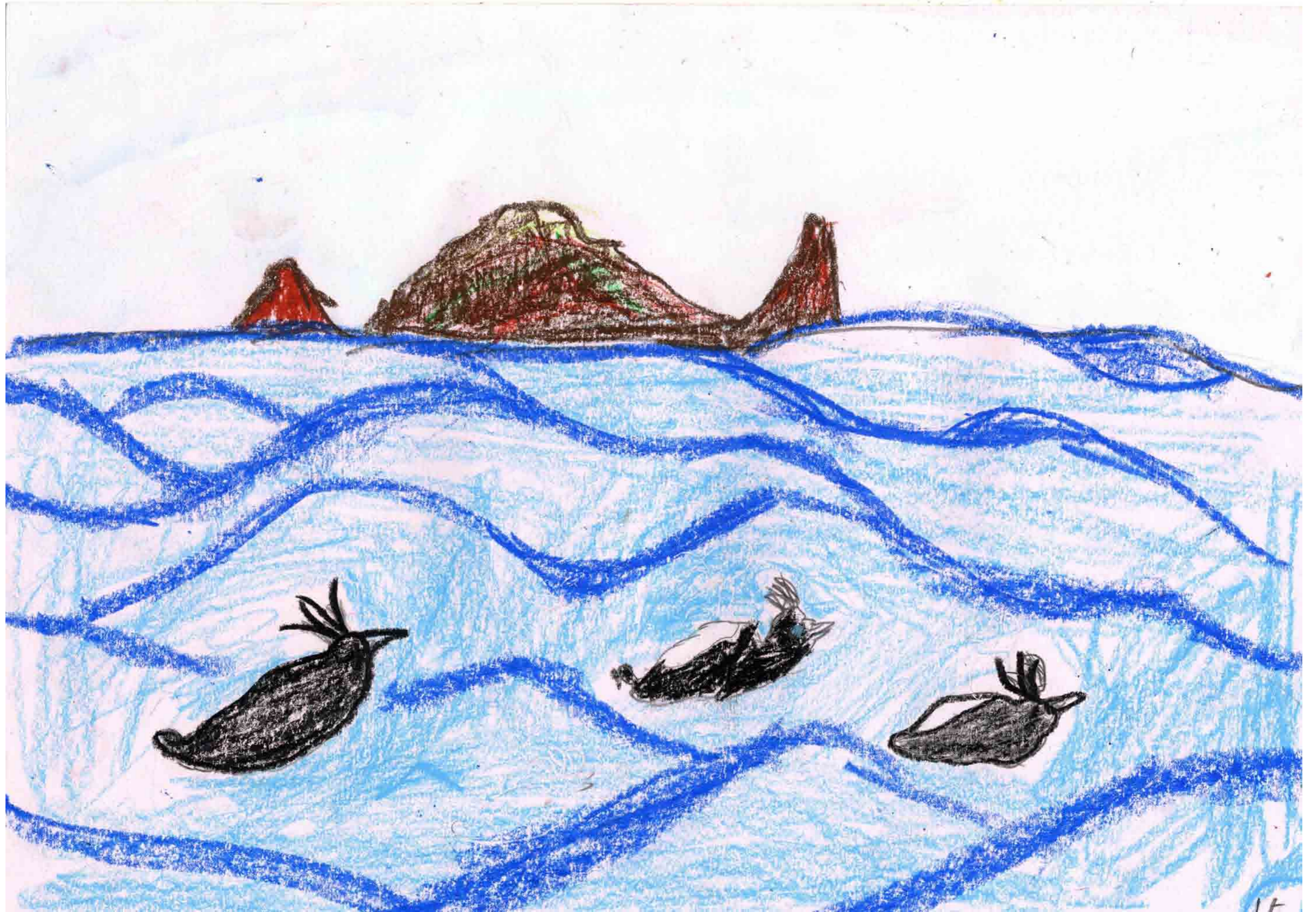


15 [美女ヶ島ができるシーン]

すると、どうでしょう。

息絶えた親子くじらが海に深く沈み、たちまち黒い岩がのぞかせたのです。
そして、親子くじらが連れ添って泳いでいる形の島ができたのです。

カンムリウミスズメの親子は、ビックリ！です。



16 [「美女ヶ島」で子育てをするカムリウミスズメたちのシーン]

^{ひめがし}
神武^{じんむ}さまは、この島を「美女ヶ島」と名付けました。
カムリウミスズメの親子は、この「美女ヶ島」を^{こもだ}子育ての^{ばしょ}場所^{ばしょ}にすることに
しました。

姫田

しきの
公領平



17 [おしまい]

まいとし

[夕日のあたる「美女ヶ島」の鳥瞰図]

いしよ

それからは、毎年北の方から、たくさんのカンムリウミスズメが、「美女ヶ島」にやってきて、子育てをするようになったということです。

註 ① 神武天皇・・45歳のとき、軍船を率いて日向美々津（現宮崎県門川町）を出発し、瀬戸内海を東に進み、大和を平定します。その後、橿原宮（かしはらぐう）で天皇の即位式をして、初代天皇となる。

② カンムリウミスズメ・・翼が短く飛ぶのが苦手。1年の大半を海上で過ごす。潜りは得意で、ペンギンのように翼を使って飛ぶように泳ぐ。1975年に天然記念物に指定。

おしまし



『くじらとカムリウミスズメの物語』

脚本 鳥巢京一

- 1 [タイトル：前書き]
[むかしむかしの日南海岸の鳥瞰図]

小さなペンギンのような海鳥、カムリウミスズメ。
世界一の繁殖地、宮崎県の無人島、くじらピロウ島。
北極で生まれのカムリウミスズメの大冒険。
一体どんな冒険がまちうけているのでしょうか！

ぼろけん

久米勇夢